



第61回  
徳島  
駅伝

# 全員駅伝で6位入賞！

中学生総合、女子総合は2年連続優勝!!



初めて采配をふるった森 泰英監督。解団式で選手の健闘を称え、来年に向けて再起を誓いました。「主力選手をけがで欠く中で、中学生総合と女子総合で2年連続優勝できたのは次につながる明るい材料です。順位が悪くても好位置でたすきを渡すなど、見えないところでの活躍も光りました。それに引っ張られて高校男子や一般選手も奮起し、粘りの走りチームに貢献してくれました。台所事情の悪さが、かえってチームの結束を生みました。一時は8位、9位も覚悟しただけに、価値ある6位です。これ以下はあり得ない、上をめざすのみ。課題は、エースに頼らない選手層の厚いチームづくり。上位をねらうには個々のレベルアップが不可欠で、今回の経験を次につなげたいです。沿道から力強い声援をいただき、ありがとうございました。」

## 次につながる6位 厚い選手層づくり誓う



## 主将インタビュー



主将 山崎優希選手(日亜)  
27区(8.3km)で大学時代の記録を2分近く更新し、納得の笑顔。

けが人が多く、苦しい戦いとなりましたが、すべての選手が持てる力を十分に発揮したと思います。中学生と女子選手の頑張りに、一般選手が応えられなかったのが残念。エース頼みではなく、個々のレベルアップの必要性を痛感した大会でもありました。思いは皆同じ。来年こそ上位争いができるよう頑張りたいです。

## 受賞おめでとうございます



数藤選手 福良選手 守野選手 紀本選手 小林選手

### 区間賞

数藤 選手	大阪学院大学 4年	17区(3.0km)	9分26秒
福良 選手	富岡東高等学校 2年	22区(4.6km)	15分05秒
守野 選手	阿南中学校 3年	16区(2.9km)	9分37秒
紀本 選手	阿南第一中学校 2年	26区(2.8km)	9分34秒
小林 選手	羽ノ浦中学校 1年	33区(1.6km)	5分23秒

新人賞 小林璃々 選手 (33区1位、40区2位)

還暦を超え、新たな時代に突入した「徳島駅伝」が、1月4日から3日間におたつて開催され、16郡市562人のランナーが健脚を競いました。上位入賞をめざした阿南市は、エース不在という厳しいチーム事情の中、全員駅伝で懸命にたすきをつなぎ、6位入賞を果たしました。目標こそ達成できませんでしたが、2年連続中学生総合優勝、女子総合優勝は、次なる戦力が育っている証。古豪復活に向け、着実に階段を上っています。

陸上人生の集大成として臨んだ徳島駅伝。「みんなの思いと一緒に走りました」と、自身初めての区間賞の走りを見せ、笑顔でゴールに駆け込む数藤未来選手。(1月4日 幸町新聞放送会館別館前)